

## 第2 検討部会 会議録

会議の名称	第4回 第2 検討部会
開催日時	平成19年9月4日(火)18時00分から19時30分
開催場所	川口市職員会館 2階 講座室A
出席者	(部会長)平副委員長 (委員)小川委員、永瀬委員、大関委員、立石委員、石井(邦)委員、河合委員、篠田委員、高橋委員、吉田委員
会議内容	・協働の定義とは
会議資料	・第2 検討部会予定案 ・協働に関する参考資料 ・「協働による自治体経営」についての提言 ・他市町事例(ニセコ町・草加市)
発言内容	<p>協働の定義・原則について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの議論を進める上で協働とは何か整理してみる必要がある。</li> <li>・今後、協働に関する議論では、一緒にやる協働(目標・時間・場所を共有した活動)と一緒にやらない協働(目標は共有するが時間・場所は共有しない活動)の両方について検討する。</li> <li>・行政との協働の相手は団体だけでなく個人も含まれる。行政と市民との関係について他の条例では対等と位置付けられているが、実態として行政が権限や財源を持っていることは留意しておく必要があり、協力の仕方もあると思う。</li> <li>・協働にあたっては、市民や行政の長所・短所を相互に補完する意味で多様な関係が存在してもいいのではないかと。</li> <li>・市民と行政の関わり方について特に限定せず、広範囲なかたちで議論をおこなう。</li> <li>・協働に関する議論では市民の定義についても、検討の場があればいいと思う。</li> <li>・具体的な実践論から議論することで、協働にあたっての課題が浮かび上がると思う。</li> </ul> <p>協働を進めるための行政のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の誘導による市民活動と市民主導による市民活動では、参加する市民の意識に大きな違いが見られ、市民主導による市民活動の方が盛り上がる傾向にある。</li> <li>・市民活動の初期段階で行政からの支援を受けることができても、次第に支援が得られなくなって行政に不信感を抱くようになった経験がある。このような行政の対応では市民と行政との相互理解は築くことができない。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動の立ち上がり段階では行政主導型が効果をもたらす場合もある。重要なのは、市民主導型に移行すべきか、それとも行政主導型を継続すべきなのか事例に応じて判断することだと思う。</li> <li>・自治基本条例では憲法という位置づけだけにこだわらず、実質的な動きを生み出す仕組みとなって欲しい。</li> </ul> <p style="text-align: center;">次回の議論について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働を進めるための行政のあり方</li> <li>・市民活動を活性化させるための行政のあり方</li> </ul>
次回以降日程	<p>第5回検討部会 9月28日(金)18時30分～職員会館2階 教養室A・B</p> <p>第6回検討部会 10月12日(金)18時30分～職員会館2階 講座室A</p>